



個人投資家様向け説明会資料

2017年2月25日

株式会社MCJ

証券コード：6670

Agenda

- **MCJグループについて**
- **2017-2019年度 中期経営計画について**
- **株主還元について**

MCJグループについて

会社概要

設立

1998年8月

従業員数

1,136名

※2016年12月末時点

売上高



1,000億円達成

※2014年3月期以降
3期連続達成

事業概要

PC関連事業



総合エンターテインメント
事業



グループ会社

全12社

(連結子会社)

マウスコンピューター
ユニットコム
テックウインド
iiyama
aprecio etc..

時価総額



583億円

※2016年12月末時点

上場証券取引所

東証2部
証券コード6670

単元株数

100株

MCJ 主要グループ会社紹介



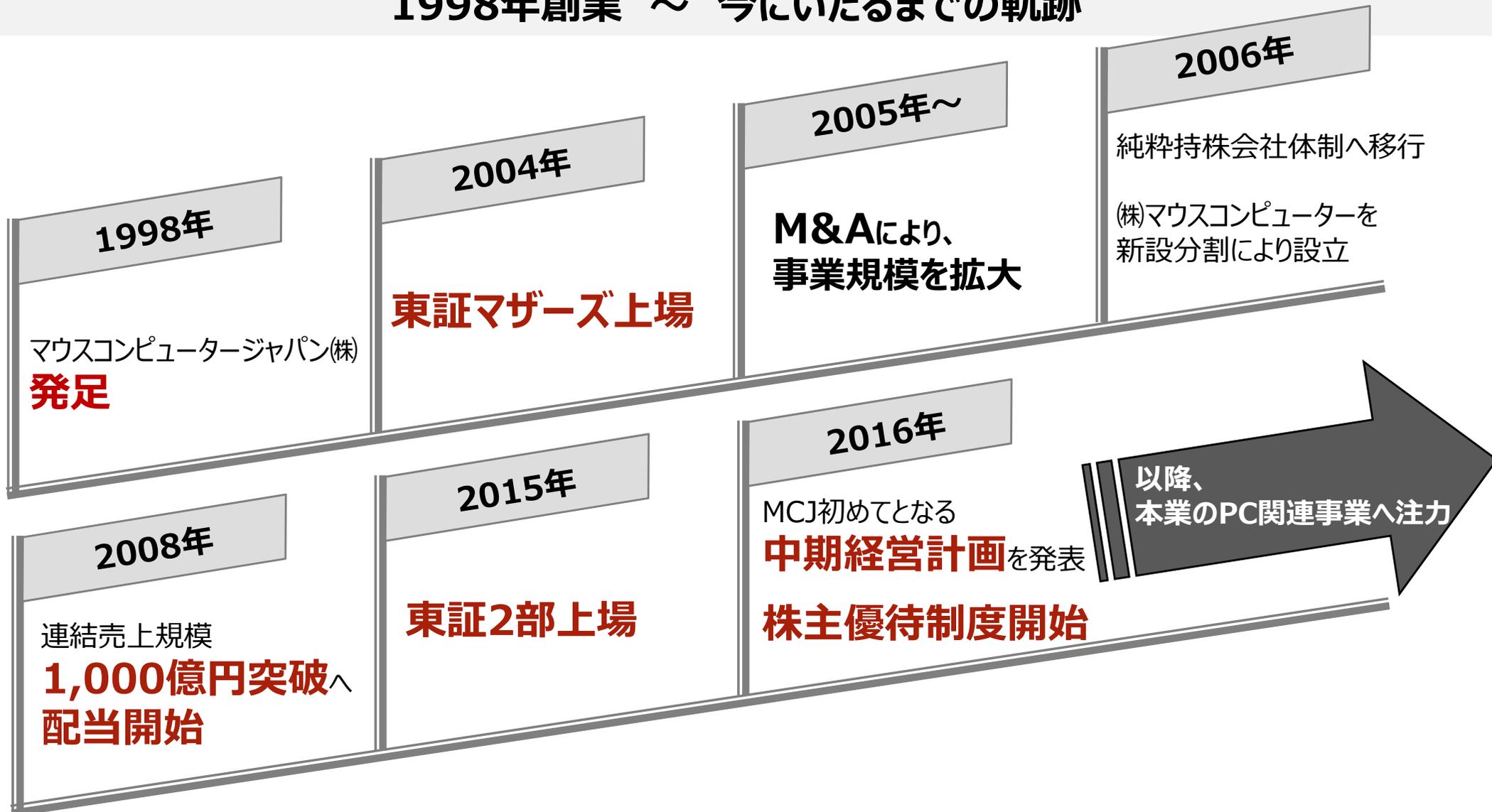
□ 全12社

- PC本体、PCパーツ、モニタ、PC周辺機器等の製造・販売（11社）
- 複合カフェ「aprecio（アプレシオ）」の運営（1社）

主な沿革

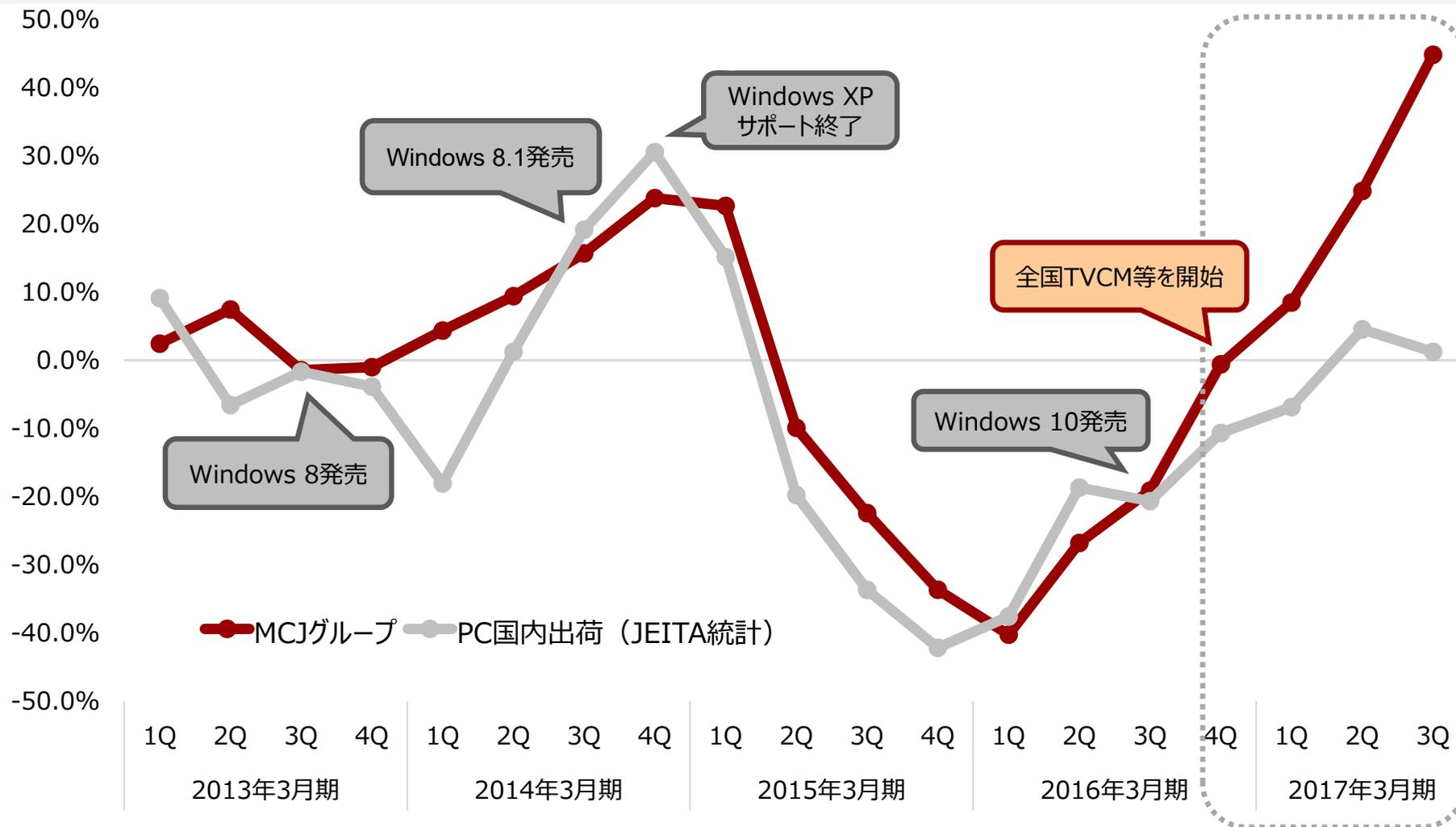


1998年創業 ～ 今にいたるまでの軌跡



パソコン出荷台数増減率の推移

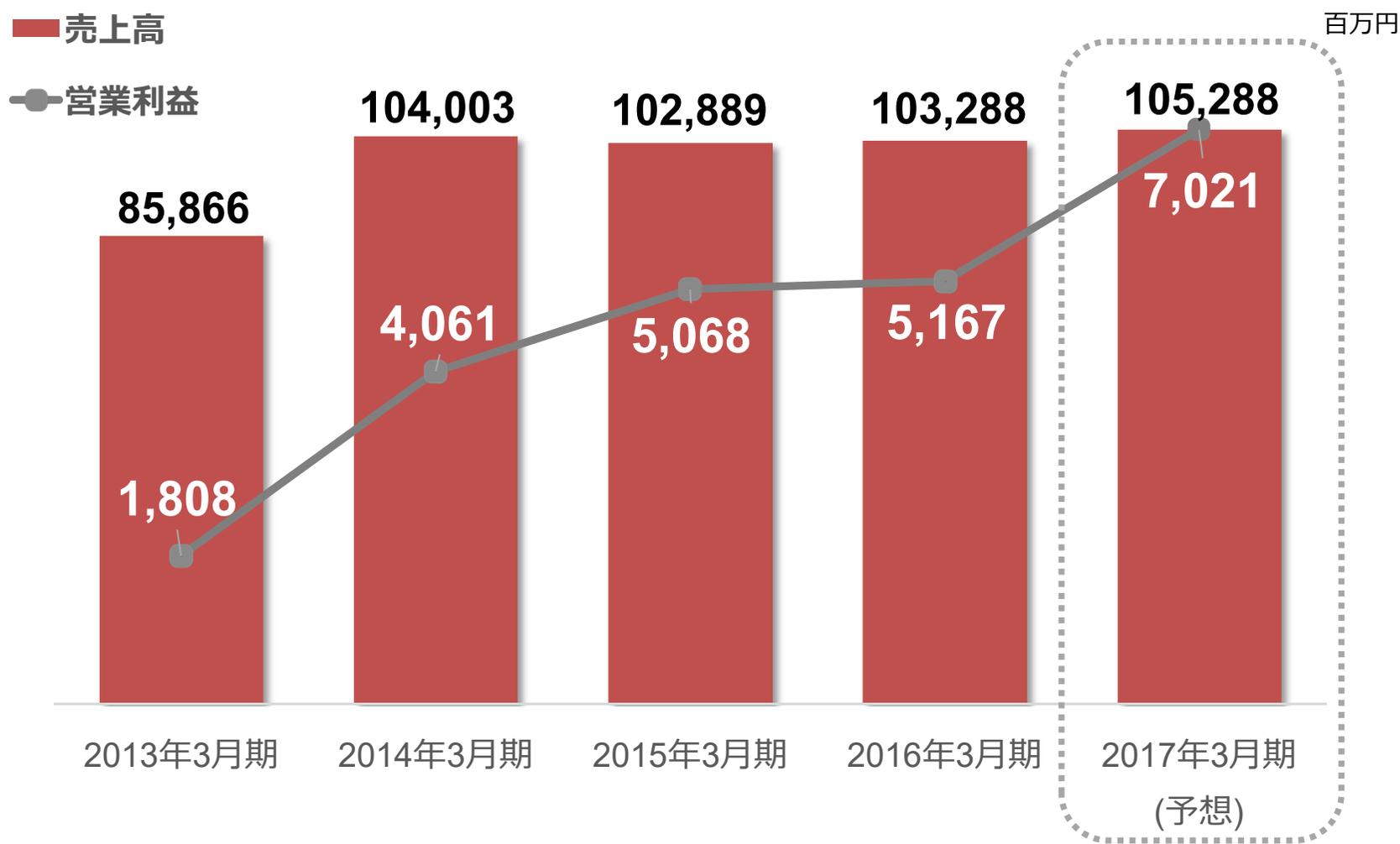
市場全体が前年に対し軟調に推移する中、
前年第4四半期より継続して出荷台数を順調に拡大



売上高・営業利益の推移

M C J M C J

2013年3月期より、4期連続増益を達成
今期も大幅に増益予定



マウスコンピューター



パソコンの国内製造及びBTOを中心とした販売

□ 主要ブランド

- 法人専用PC **【MousePro】**
- ゲーミングPC **【G-Tune】**
- クリエイター向けPC **【DAIV】** etc..

□ 開発製品

- Windows Hello対応製品
 - 顔認証カメラ「CM01」
 - 指紋認証リーダー「FP01」
- Windows対応スマートフォン MADOSMA
- スティック型PC MSシリーズ etc..



UNITCOM

全国70店舗以上の店舗網を活かした
PC関連製品の販売及びサポートサービスの提供

□ 店舗ブランド

- パソコン工房
- グッドウィル
- mineoショップ

□ 充実したサポートサービスを提供

- ワンコイン診断サービス
- パソコン・スマホ修理設定サービス
- 中古販売・買い取りサービス



テックウインド



TEKWIND

総合IT関連機器及びパーツの卸販売

□ 取扱い製品

- PCパーツ／産業用PC部品
- システム／ネットワーク機器
- ソフトウェア
- 周辺アクセサリ・その他
- 自社ブランド



» 近年、独自製品の開拓に注力

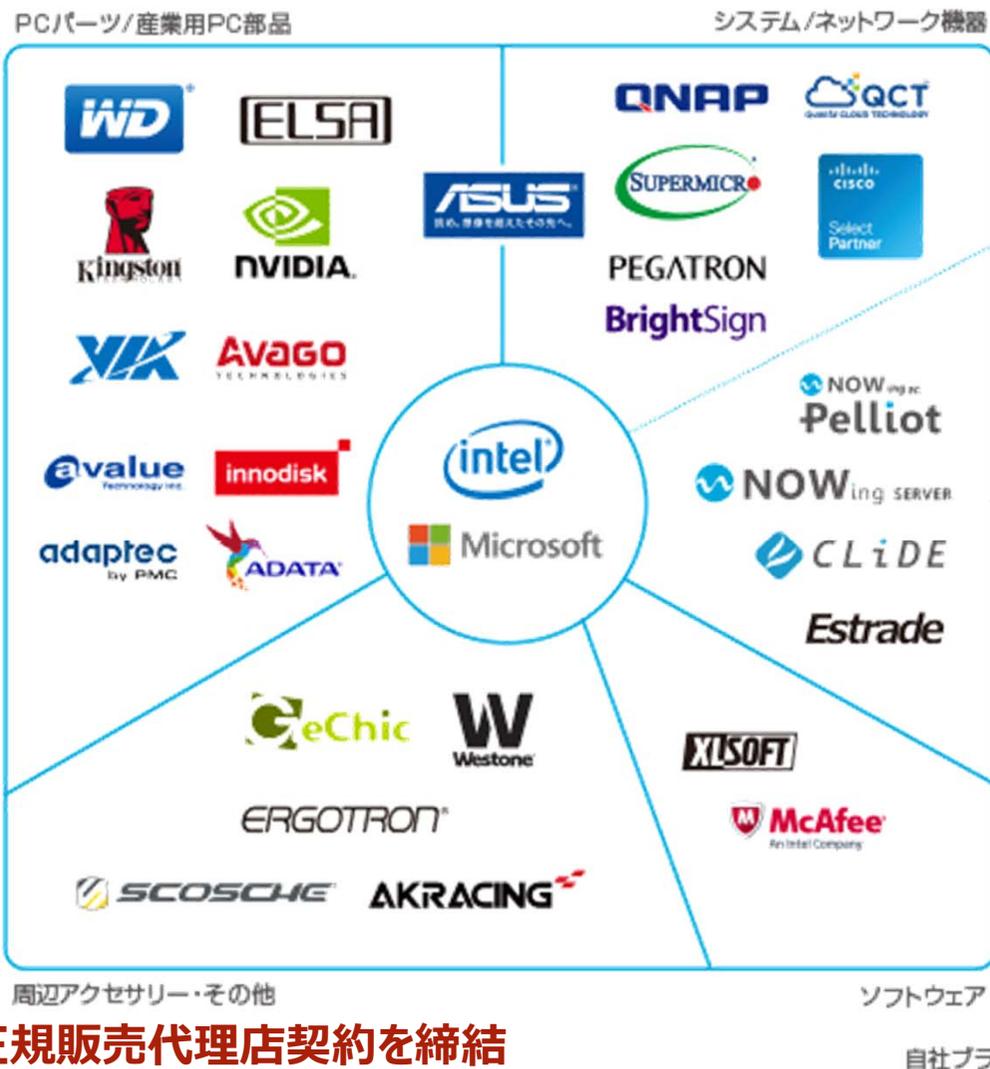
海外メーカーと日本国内マーケットを繋ぐ
マルチディストリビューターとしてサービスを提供

□ 正規販売代理店契約

- マイクロソフト
- インテル
- ASUS etc...

» 世界150社以上の業界トップメーカーと正規販売代理店契約を締結

主な取扱いメーカー





欧州をターゲットとしたモニタの開発及び販売

□ 主要販売先

- イギリス
- オランダ
- ドイツ
- フランス
- ポーランド etc..

□ 取扱い商品・製品

- PCモニター
- コンシューマータッチ
- 産業用タッチ
- 大型ディスプレイ etc..



MCJグループの特徴

明確なターゲット層に向けて個々のニーズに合った製品を展開

» 以下の3つの特徴が、競合他社との差別化を図っている

✓ バランス

- 価格：競争力のある価格
 - 製品仕様：ハイスペック
 - 製品品質：国産品質
 - アフターサポート：24時間コールセンター、社内修理センターを保有
 - etc..
- 一貫したバリューチェーンを持つことにより、価格・製品品質・アフターサポートにおいてバランスのとれた製品販売が可能に

開発 仕入 製造 販売 アフター

✓ 革新的な製品開発

- 個々のユーザーにとっての、オンリーワンの製品
- ゲーミングPC、VR対応PC、クリエイター向けPC等、特殊用途のPCを数多く手掛ける
- 市場ニーズを見極めた製品開発力
 - 「日本初」の製品も多数
- etc..

✓ 運営における優位性

- PCに求める要素が明確な層のニーズに応える“BTOモデル”を採用
- 各量販店毎へもカスタマイズモデルを投入
- ローコストオペレーション
- 優れたマーケティング
- 市場ニーズに応じた新製品の迅速な投入
- etc..

» 3つの特徴が組み合わさることにより、MCJグループ独自のユニークさを構築している

MCJグループの強み

国内における一貫したValue Chainを有する

当社グループの持つValue Chain概略



- 国内において一貫したバリューチェーンを有することによって、スピーディーな製品開発やきめ細かなニーズに対応した製造、迅速なアフターサービスが可能に
- BTOモデルの採用により在庫や固定費の削減が可能となり、コストにおいても優位性を保っている

MCJグループの強み

グループシナジーを活かした、スピーディーな製品開発力



強みPOINT

- › 顧客ニーズを捉えた独自製品の開発力を有する
- › 革新的な製品開発実績多数（スティック型PC、Windows Hello対応アクセサリ等）

今後注力していくPOINT

- › 自社開発に加え、ベンチャー企業との共同開発を強化

MCJグループの強み

大手グローバル企業群との強固な関係を構築

開発

仕入

製造

販売

アフター

強みPOINT

- » グローバルな仕入れ先、ODM等との強固な関係

今後注力していくPOINT

- » 国内外のベンチャー企業製品の取扱い

MCJグループの強み

社内外でフレキシブルな対応が可能な体制を整備



強みPOINT

- › 多品種少量生産に対応したBTO×セル生産方式を採用
- › 国内自社工場2拠点（東日本、西日本）、国内外において製造協力工場多数

MCJグループの強み

グループ全体でBtoB,BtoC向けにほぼすべての販売チャネルを保有



強みPOINT

- › 自社ECサイトを運営
- › 全国70拠点以上の店舗を展開
- › 法人、流通商社、大手量販店、海外販路等の販売チャネル

今後注力していくPOINT

- › 取扱い製品の拡充（各種ハードウェア、ソフトウェア、コンテンツ等）

MCJグループの強み【販売：セールスチャネル】

グループ全体で幅広いセールスチャネルを保有

To C



直販チャネル

ECサイト
店舗

流通チャネル

大手量販店
OEM供給

個人のお客様

- ・各社でECサイトを運営
- ・70以上の直営店舗
- ・主要量販店各社への自社製品納入
- ・一部量販店へのOEM供給

To B



直販チャネル

営業

流通チャネル

代理店

法人のお客様

- ・各種法人への自社営業部隊による直接販売
- ・全国展開するIT販社や、有名ECサイトにおける販売

海外



ヨーロッパ販路

流通チャネル

代理店

個人のお客様
法人のお客様

- ・各国の販社経由の販売

MCJグループの強み

顧客満足度を重視し、購入後まで手厚いサポート体制を構築

開発

仕入

製造

販売

アフター

強みPOINT

- ≫ 24時間365日対応コールセンター
- ≫ 国内自社修理センターを保有
- ≫ 全国に有する店舗における修理サポートの提供

直近の取り組み

- ≫ LINE ビジネスコネクトを利用したLINEでトークサポートを開発

MCJグループの強み【全国にまたがる拠点を有する】

全国70以上の店舗を展開、東日本・西日本に自社工場を保有



中期経営計画 2017-2019年度

《中期経営計画》 主要方針

中期経営計画で掲げる 2本の軸

経営ビジョン
及び
事業方針

財務面
での方針

《中期経営計画》 中長期の方向性及び目標

経営ビジョン及び事業方針

相乗効果による最大化

取扱い製品（ハード）
の拡充

コンテンツ・サービス分野
への事業領域の拡大

方向性
／
目標

【方向性】

- PC、スマホ、タブレット以外の取扱いハードウェアの拡充
- ウェアラブル、VR、AR、ドローン、IoT..

【目標】

- ハードウェアによるイノベーションの継続推進を目指す

【方向性】

- 既存ハード事業と親和性のあるサービス等の開拓
- コンシューマー向けコンテンツ、法人向けソフトウェア..

【目標】

- サービスからのイノベーションの取込みを目指す

《中期経営計画》 目標達成手段及び具体的手法

経営ビジョン及び事業方針

相乗効果による最大化

取扱い製品（ハード）
の拡充

コンテンツ・サービス分野
への事業領域の拡大

【目標達成手段】

- 自社グループによる開発
- 優良ベンチャー企業との連携

【目標達成手段】

- 優良ベンチャー企業との連携
- M&Aによる事業ドメインの拡大

【具体的手法】

- 自社バリューチェーンを活用した新VB投資方針（2016年5月中計にて発表）
- 新たなM&A方針の策定（2016年5月中計にて発表）

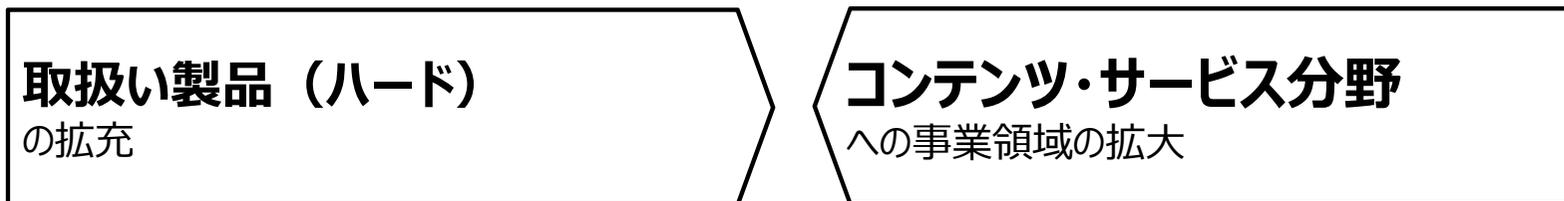
目標達成
手段
／
具体的
手法

《中期経営計画》 進捗状況

M C J M C J

相乗効果による最大化

経営ビジョン及び事業方針



進捗

【進捗】

□ マウス製品

- VR体験/開発向けパソコン、Windows Hello対応製品..

□ ユニットコムによる取組

- VR HMD Vive、Qrio Smart Lock ..

□ 株式会社ネインへの出資 (2016年11月1日発表)

【進捗】

□ 株式会社桜花一門への出資によるVRコンテンツ開発への進出

(2016年11月1日発表)

□ VRイベントへの協賛・PC提供

《中期経営計画》 方向性及び目標



財務面での方針



方向性
／
目標

- 【方向性】（下記を下限とする）**
- 営業利益率：5%以上
 - ROE：10%以上
 - ROIC：10%以上
- 【目標】**
- 収益性と健全性の保持

- 【方向性】**
- 配当性向：20%以上
 - 株主還元強化を重要指標として
明確に設定

《中期経営計画》 設定背景



財務面での方針



設定背景

【設定背景】
□営業利益：
成長性とサステイナブルな企業体としての健全性のバランスを取る水準
□ROE/ROIC：
オーガニックでは上昇を予測。
M&Aによる影響を鑑みて、
下限を設定

【設定背景】
□FCFの活用方法は主にM&A、
株主還元、内部留保
□業績推移及び将来見通しをベースに
機動的に還元を強化

《中期経営計画》 進捗状況



財務面での方針



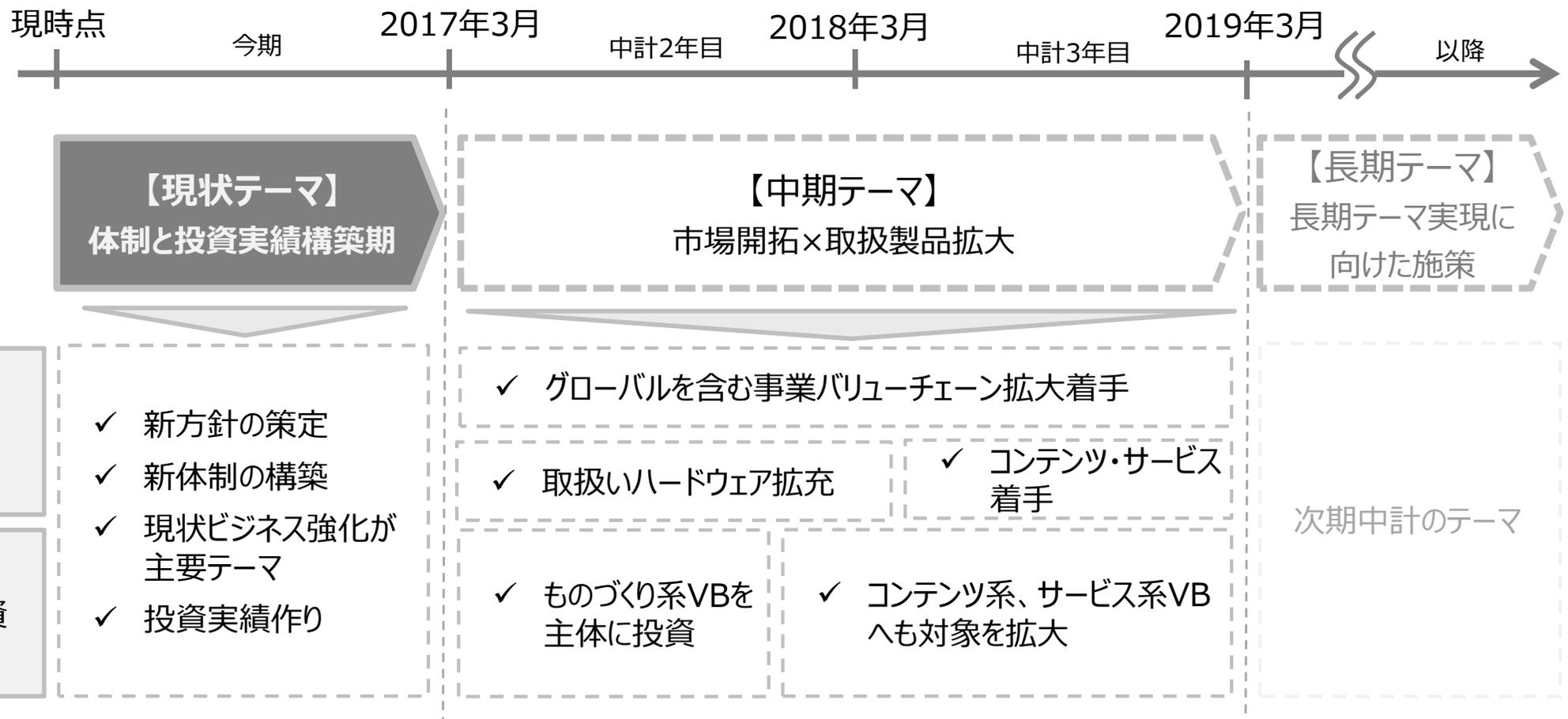
進捗

- 【進捗】**
- 営業利益率
2017年3月期第2四半期実績：
8.2%
 - 営業利益率
2017年3月期通期予想：6.7%
 - ROE/ROIC：通期開示予定

- 【進捗】**
- 配当性向**
- 2016年3月期実績：20.5%
 - 2017年3月期当初予想：20%
 - 2017年3月期修正予想：25%

《中期経営計画》 M&A及びVB投資の方向性（現状想定）

- 中期的に目指す姿を達成するための手段としてM&A / VB投資は大きな要素を占める
 - 基本方針としてFCF及び手元資金の範囲内での実行を想定
 - 実行にあたっては件数に拘らず、事業シナジー前提で検討



《中期経営計画》 VR関連への取り組み

成長分野であるVRへハードウェア及びコンテンツの双方より参入

ハードウェア

■ VRHMD*1のインフラとなる ハイスペックPCの提供

各種VR ready PCの製造・販売

- ゲーミングPC「G-Tune」よりVR向けゲーミングPC「OcuFes*2監修PC」を販売（マウスコンピューター）

- クリエイター向けPCブランド「DAIV（ダイブ）」より、VR Readyに準拠したノートパソコンを販売（マウスコンピューター）

- 「iiyama PC」ブランド「SOLUTION∞（ソリューションインフィニティ）」より、Vive推奨取得VR開発向けノートパソコンを販売（ユニットコム）



■ VRHMDの販売及び普及推進

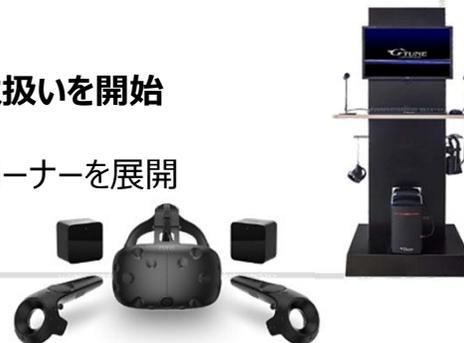
各種VR デバイスの取扱い

● HTC Viveの取扱いを開始

- 一部店舗にてデモ機を設置（ユニットコム）
- VR推奨スペックゲーミングPCとHTC Viveのセット販売を開始（ユニットコム）
- HTC Viveヘッドセットの日本国内販売代理店を開始（アユート）

● Oculus Touchの取扱いを開始

- 直営5店舗にて体験コーナーを展開（マウスコンピューター）



コンテンツ

■ VB投資

株式会社桜花一門 への出資

×

- コンテンツ投資の第1号案件

- PSVRの成長の取込

- 不足するVRコンテンツの普及推進を図り、ハードウェア売上への波及を見込む

*1 Head Mount Displayの略。頭部に装着するVR専用のデバイス

*2 VR開発者団体「NPO法人オキュフェス」(代表理事：高橋健滋、所在：東京都)

《中期経営計画》 VB投資進捗及び投資案件会社の紹介

中長期で目指す姿の実現に向けて、戦略的な投資を実施

ハードウェアベンチャー企業

株式会社ネイン

- ネイン社は、音声認識技術を活用した“ヒアラブルデバイス”開発を手掛けるベンチャー企業
- ワイヤレスイヤフォン × 音声認識
- ハンズフリーでスマホの操作を可能とするデバイスを販売（LINE,メール,Twitter,ニュースetc..）



コンテンツベンチャー企業

株式会社桜花一門

- 桜花一門社は、VRゲームコンテンツの開発を手掛けるベンチャー企業
- 現在は、PSVR向けVRゲームの開発過程であり、2017年中に初タイトルを公開予定
- PC向けHMD対応VRゲームも続けて公開予定



株主還元

《株主還元》 配当金について

2016年10月末に発表の通り、配当性向を20.0%から25.0%へ
当社配当利回り（予想）：2.18%*1 > 2部上場企業加重平均配当利回り：1.21%*2

	実績			当初予想	修正後予想
	2014年3月期	2015年3月期	2016年3月期	2017年3月期	2017年3月期
年間1株当たり 配当金	5円46銭	10円00銭	13円00銭	14円50銭	25円27銭
配当性向	15.0%	18.6%	20.5%	20.0%	25.0%

- 配当性向を当初予想の20.0%から**25.0%**に上方修正
- 親会社に帰属する当期純利益を当初計画35億円から49億円へ上方修正
 - 以上の結果、1株当たりの期末配当予想金額を**25円27銭**に修正

※2017年度3月期の配当金は、2017年6月に開催予定の定時株主総会において承認されることを前提として記載

*1 2017年1月末時点での株価で計算

*2 株式会社東京証券取引所調べ

《株主還元》 株主優待制度について

2017年3月期も株主優待を実施の予定

① 1,000株以上

1万円相当の当社オリジナルカタログ
(グループ製品及び飲食料品を予定) より1点選択 + ②

【対象商品の一例】

タブレットPC／Windows Helloデバイス／
パソコンモニタ／米20kg／飛騨牛すきやき肉／
桃茶豚ギフトセット／カニセット 等

- 商品はあくまでも予定ですので、変更する場合がございます。
- 画像はイメージですので、実際の商品とは異なる場合がございます。



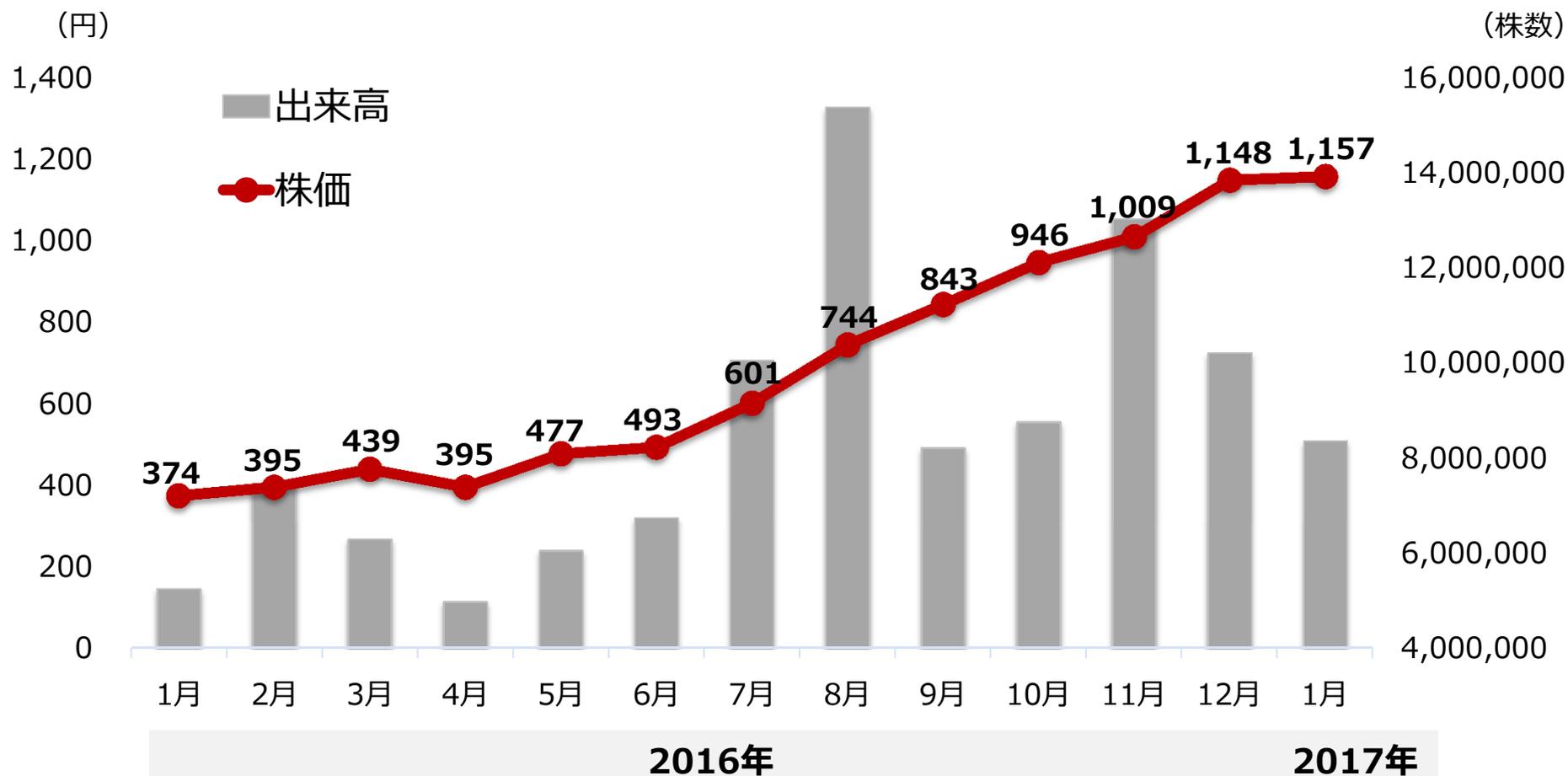
② 100株以上1,000株未満

『パソコンワンコイン診断サービス』利用券
(500円×2枚)



株価・出来高推移

2016年1月～2017年1月 直近1年の株価・出来高推移



まとめ

- 低迷するPC業界において、ニッチ分野で成長
- 日本発の製造業として海外でも安定収益を稼ぐ
- 今後の成長分野であるVRへグループをあげて注力
- “ハードウェア×ソフト・コンテンツ”の両輪による成長戦略
- 好調な業績、良好な財務指標、積極的な株主還元

免責事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る仮定を前提として作成されており、実際の業績等は様々な要因によりこれらの見通しとは異なる可能性があります。

当社は、これらの将来の見通しに関する事項を常に改定する訳ではなく、またその責任も有しません。

尚、実際の業績等に影響を与える主な項目例は以下の通りとなりますが、将来見通しに影響を与える項目はこれらに限定されるものではありません。

- » 当社グループの事業領域を取り巻く各種経済情勢
- » 当社グループの製品・サービスに対する需要
- » 新製品等開発に係る当社グループの能力及び新製品・サービスの動向
- » M&Aや他社との事業等の提携
- » 資金調達環境、為替動向等の財務を取り巻く環境
- » 事故・自然災害等

< IR及び本資料に関するお問い合わせ >

株式会社MCJ
経営企画室 広報IR担当

TEL : 03-6739-3991
HP : www.mcj.jp/

MCJ
HOLDING COMPANY